

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 9 月 22 日 (2005.9.22)

【公開番号】特開 2003-310929 (P2003-310929A)  
 【公開日】平成 15 年 11 月 5 日 (2003.11.5)  
 【出願番号】特願 2002-125334 (P2002-125334)  
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 4 月 13 日 (2005.4.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報を変動表示可能な可変表示装置と、

遊技媒体の挙動に起因して抽選を行い、その結果に基づいて所定ラウンド数の特賞状態からなる特別遊技状態を導出するか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段にて前記特別遊技状態を導出することが判定された場合に、通常モードに移行するのか、又は、前記通常モードよりも価値の高い特別モードに移行するのかを決定するモード決定手段とを備えた遊技機であって、

通常モード時においては、

前記モード決定手段により通常モードに移行することが決定された場合には、前記可変表示装置において前記識別情報を第 1 の特定の態様で確定表示し、前記特別遊技状態を導出し、その後通常モードに移行するように構成され、

前記モード決定手段により特別モードに移行することが決定された場合には、前記可変表示装置において前記識別情報を第 2 の特定の態様で確定表示し、前記特別遊技状態を導出し、その後特別モードに移行するように構成され、

特別モード時においては、

前記モード決定手段により特別モードに移行することが決定された場合には、前記可変表示装置において前記識別情報を前記第 2 の特定の態様にて確定表示することをひかえて、前記第 1 又は第 2 の特定の態様とは別の態様で確定表示して、前記特別遊技状態がためられるように構成され、

前記モード決定手段により通常モードに移行することが決定された場合には、前記可変表示装置において前記識別情報を前記第 1 の特定の態様で確定表示し、前記特別遊技状態を導出し、その後通常モードに移行するように構成され、

当該通常モード移行後において、前記ためられたすべての特別遊技状態又はその一部を導出可能とするとともに、

所定の導出操作手段の操作、又は、遊技機の外部に設けられた導出制御手段からの指示があった場合には、前記ためられたすべての特別遊技状態又はその一部を導出することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記導出操作手段は、遊技者に操作不能な位置に設けられていることを特徴とする請求

項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記導出操作手段は、遊技機の内部で所定のロック機構のロック解除を行わなければ操作不能な位置に設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。